

北海道「恋人の聖地」

幸福駅、新装オープン

観光客でにぎわっ

縁起の良い名前で人気の北海道帯広市の旧国鉄広尾線幸福駅が16日、改築を終え一般公開された。写真。生まれ変わった「恋人の聖地」は初日から多くの観光客でにぎわった。

老朽化のため改築された駅舎は旧駅舎の木材を再利用し、レトロな外観をそのまま引き継いだ。旧駅舎同様に訪問客らは幸福を願って名刺やメモを張ることができ、「恋

人の泉」という小さな噴水を置いた広場も整備された。

幸福駅は1970年代にテレビ番組で紹介され、観光スポットになった。87年の広尾線廃線後も駅舎やホームが残され、年間十数万人が訪れる。

この日は、新装オープンの記念式典が開かれ、幸福駅を題材にした「愛の国から幸福へ」をヒットさせた歌手の芹洋子さんや市長ら約40人が駅舎を囲んでテープカットした。カップルが盛装して記念写真を撮るイベントも開かれ、帯広市の農業飯田京介さん(28)は古崎真衣さん(27)のドレス姿に「いつも以上にきれい」と笑顔を見せた。

